平成24年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年７月19日

上 場 会 社 名	キヤノン電子株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	７７３９	URL	http://www.canon-elec.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)酒巻　久	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経理部長	(氏名)黒沢　明	(TEL) (03)6910-4111
四半期報告書提出予定日	平成24年８月10日	配当支払開始予定日	平成24年８月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年12月期第２四半期の連結業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第２四半期	53,509	3.4	5,400	12.7	5,794	14.9	3,592	24.1
23年12月期第２四半期	51,768	△10.8	4,792	△27.4	5,042	△21.1	2,895	△19.1

（注）　包括利益　24年12月期第２四半期　3,613百万円(20.2%)　23年12月期第２四半期　3,005百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年12月期第２四半期	85　18	―
23年12月期第２四半期	68　65	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第２四半期	92,907	67,255	72.1
23年12月期	90,585	64,884	71.3

（参考）　自己資本　24年12月期第２四半期 66,946百万円　23年12月期 64,601百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年12月期	―	30　00	―	30　00	60　00
24年12月期	―	30　00			
24年12月期(予想)			―	―	―

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
なお、平成24年12月期の１株当たり期末配当金については未定です。

３．平成24年12月期の連結業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	111,000	2.0	12,000	4.5	12,000	2.6	7,200	8.5	170　72

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期２Ｑ	42,206,540株	23年12月期	42,206,540株
②　期末自己株式数	24年12月期２Ｑ	33,163株	23年12月期	33,378株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期２Ｑ	42,173,172株	23年12月期２Ｑ	42,173,086株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成24年12月期の１株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
(4) 追加情報 …… 3
3. 四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年６月30日）の世界情勢は、全体としては緩やかな回復を続けていますが、欧州諸国における財政不安の高まり等により減速感が広がりました。国内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景に緩やかに回復しました。為替は、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円高で推移しました。

当社グループ関連市場において、デジタルカメラ市場は、一眼レフタイプの需要が引き続き堅調に推移しました。ドキュメントスキャナー市場は、文書の電子化需要により拡大傾向にあり、低価格・コンパクトタイプの需要が伸びました。

このような環境下において、当社グループは、積極的な受注活動を展開するとともに、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。また、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の連結売上高は535億９百万円（前年同期比3.4%増）、連結営業利益は54億円（前年同期比12.7%増）、連結四半期純利益は35億92百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンポーネント

当セグメントにおきましては、デジタル一眼レフカメラ用シャッターユニットが引き続き旺盛な需要を受けて好調に推移しました。また、交換レンズ用絞りユニット、コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットも堅調に推移しました。レーザースキャナーユニットは販売数量が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は295億52百万円（前年同期比3.7%増）営業利益は37億18百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーが、手軽に高速スキャンを実現できるコンパクトタイプの新製品「DR-C130」を４月に発売し、省スペースの高速スキャナー「DR-C125」とともに積極的な拡販活動を展開し、コンパクトタイプを中心に販売数量を伸ばしました。地域別では、北米市場ではチェックスキャナー（小切手読取用スキャナー）の需要が回復し売上を伸ばしました。ハンディターミナルは、検針用端末等のロット商談獲得により売上が伸長しました。レーザープリンターは売上が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は186億４百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は22億５百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、情報システム投資が停滞している中、厳しい状況が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は53億51百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失は１億62百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は929億７百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億21百万円増加しました。流動資産は546億90百万円となり、19億49百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は382億16百万円となり、３億72百万円増加しました。うち有形固定資産は331億50百万円となり、７億65百万円増加しました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債は256億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少しました。流動負債は228億22百万円となり、79百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、未払費用の増加によるものです。固定負債は28億59百万円となり、99百万円減少しました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は672億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億41百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.3%から72.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間においては、主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費により、営業キャッシュ・フローは49億円の収入（前年同期比42億83百万円増）となりました。また、投資キャッシュ・フローは新製品投資及び生産能力増強のための設備投資を中心に21億47百万円の支出（前年同期比９億３百万円増）となり、フリーキャッシュ・フローは27億53百万円の収入（前年同期比51億86百万円増）となりました。一方、財務キャッシュ・フローは配当金の支払等により12億33百万円の支出（前年同期比２億39百万円減）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第２四半期連結会計期間末残高は278億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億86百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成24年１月25日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

（連結売上高1,110億円、連結営業利益120億円、連結経常利益120億円、連結当期純利益72億円）

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,411	27,897
受取手形及び売掛金	17,712	18,251
リース投資資産	236	203
商品及び製品	1,662	1,833
仕掛品	4,234	4,244
原材料及び貯蔵品	128	109
繰延税金資産	531	491
その他	1,833	1,668
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	52,740	54,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,108	14,423
機械装置及び運搬具（純額）	2,124	1,990
工具、器具及び備品（純額）	2,647	2,668
土地	13,056	13,201
建設仮勘定	448	866
有形固定資産合計	32,384	33,150
無形固定資産		
のれん	370	277
その他	970	872
無形固定資産合計	1,340	1,150
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460	1,225
繰延税金資産	1,694	1,774
その他	981	933
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,118	3,915
固定資産合計	37,844	38,216
資産合計	90,585	92,907

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,882	16,979
リース債務	68	68
未払費用	1,209	1,329
未払法人税等	2,444	2,155
設備関係支払手形	28	338
賞与引当金	339	378
役員賞与引当金	47	20
受注損失引当金	149	145
その他	1,572	1,406
流動負債合計	22,742	22,822
固定負債		
リース債務	163	129
退職給付引当金	2,341	2,299
役員退職慰労引当金	370	348
永年勤続慰労引当金	41	38
繰延税金負債	41	42
その他	0	0
固定負債合計	2,958	2,859
負債合計	25,700	25,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	51,125	53,452
自己株式	△71	△70
株主資本合計	65,618	67,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96	△124
為替換算調整勘定	△919	△874
その他の包括利益累計額合計	△1,016	△999
新株予約権	244	237
少数株主持分	37	41
純資産合計	64,884	67,225
負債純資産合計	90,585	92,907

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	51,768	53,509
売上原価	41,622	42,972
売上総利益	10,146	10,536
販売費及び一般管理費	5,354	5,136
営業利益	4,792	5,400
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	26
為替差益	152	298
受取賃貸料	23	22
助成金収入	24	13
雑収入	39	35
営業外収益合計	256	397
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	2	－
雑損失	2	2
営業外費用合計	6	3
経常利益	5,042	5,794
特別利益		
固定資産売却益	－	2
投資有価証券売却益	59	33
貸倒引当金戻入額	1	－
新株予約権戻入益	4	7
特別利益合計	65	42
特別損失		
固定資産除売却損	9	2
投資有価証券評価損	294	199
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	－
ゴルフ会員権評価損	3	－
特別損失合計	324	201
税金等調整前四半期純利益	4,784	5,635
法人税、住民税及び事業税	1,940	2,079
法人税等調整額	△51	△40
法人税等合計	1,888	2,039
少数株主損益調整前四半期純利益	2,895	3,596
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	4
四半期純利益	2,895	3,592

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,895	3,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△28
繰延ヘッジ損益	47	－
為替換算調整勘定	△3	44
その他の包括利益合計	110	16
四半期包括利益	3,005	3,613
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,005	3,609
少数株主に係る四半期包括利益	△0	4

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,784	5,635
減価償却費	1,728	1,541
のれん償却額	131	92
賞与引当金の増減額（△は減少）	349	38
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△29	△27
受注損失引当金の増減額（△は減少）	134	△3
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△79	△41
受取利息及び受取配当金	△16	△26
支払利息	1	1
有形固定資産除売却損益（△は益）	9	0
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	234	165
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	－
売上債権の増減額（△は増加）	650	△526
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,952	△160
仕入債務の増減額（△は減少）	△356	69
その他	△1,142	481
小計	4,464	7,239
利息及び配当金の受取額	16	26
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△3,862	△2,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	617	4,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,484	△2,183
有形固定資産の売却による収入	－	8
無形固定資産の取得による支出	△129	△5
投資有価証券の取得による支出	△532	△99
投資有価証券の売却による収入	111	134
貸付金の回収による収入	0	1
貸付けによる支出	－	△1
その他	△15	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,050	△2,147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,471	△1,262
その他	△0	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,472	△1,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△33
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,956	1,486
現金及び現金同等物の期首残高	27,204	26,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,248	27,897

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,495	17,843	46,339	5,429	51,768	―	51,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	412	455	101	557	△557	―
計	28,538	18,256	46,795	5,530	52,325	△557	51,768
セグメント利益	3,451	1,755	5,206	11	5,217	△425	4,792

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウエアの開発・販売ITソリューション等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,552	18,604	48,157	5,351	53,509	―	53,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	42	448	490	99	590	△590	―
計	29,595	19,052	48,648	5,451	54,099	△590	53,509
セグメント利益又は損失（△）	3,718	2,205	5,924	△162	5,761	△360	5,400

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウエアの開発・販売ITソリューション等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。